

校長室から

香川県立石田高等学校のホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。令和3年度の幕開けにあたり、ご挨拶申し上げます。

本校は1911年（明治44年）に創立され、明治、大正、昭和、平成、そして令和の五つの時代をつなぎ、昨年、創立110周年を迎えました。地域の中で独自の魅力を持ち、存在感のある学校としての歴史と伝統を受け継ぎながら、地元の皆様に支えられて発展してきました。

現在、本校には、農業科として生産経済科、園芸デザイン科、農業土木科、家庭科として生活デザイン科があり、約340名の生徒が在籍しています。知識や技術だけでなく人間性も調和的に育む「全人教育」を掲げ、生徒が勉学や実習、部活動などに主体的に取り組むことで、石高生としての誇りと自信、連帯感を深め、笑顔と活力にあふれる学校生活を送っています。

本校の元職員の方から、「石田高校の役割は、『エッセンシャルワーカー』の育成です。」という言葉をいただきました。「エッセンシャルワーカー」（**Essential Worker**）とは、人々が日常生活を送るために欠かせない仕事を担っている人のことです。長引くコロナ禍の中で、日々の生活に不可欠な職業がクローズアップされました。農業も家庭も、我々が生きていくのに必須の分野です。命を支える人材の育成が、私たちの使命だと考えています。

令和3年度も、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を取りながらの学校生活となります。生徒や、石田高校の農産物を楽しみに待っている地域の皆様のためにも、可能な限り教育活動を進めてまいります。皆様方のご支援、ご協力をお願いいたします。

令和3年4月

香川県立石田高等学校

校 長 北堀 礼子